

課題対応取組み報告書

名称	さきしま地域包括支援センター			
提出日	令和 6	年	6	月 24 日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	☒ 地域や専門職とのつながり等	☒ 社会資源の創設（居場所づくり等）
	☒ 認知症高齢者等の支援	☒ 自立支援・介護予防・健康づくり等
	☐ その他（ ）	
活動テーマ	高齢者が孤立せず住みやすい環境づくり	
地域ケア会議から 見えてきた課題	市営住宅の福祉目的住宅及びURの高齢者向け賃貸住宅を推奨している事もあり、年々人口の高齢化が進んでいる。 高齢化率が50%近い自治会もあるが、高齢者が自由に参加できる集いの場が少ない自治会も存在している。	
対象	地域住民	
地域特性	周囲を海に囲まれた人工島であり、地域外との交流に消極的な雰囲気がある。 そのため、古参と新参間の関係構築が難しく、高齢者個人だけでは解決が困難な問題を抱えている地域でもある。 また、南港北地域は、新しいマンション群で他の4地域よりも若い世代や企業が多く高齢者を含めたコミュニティが作りにくい。	
活動目標	高齢化率の高い町会での介護予防のための取り組みとして、百歳体操の立ち上げ支援と後方支援。 多くの方が自由に参加でき、他者との交流を図ることが出来る取り組み。	
活動内容 (具体的取組み)	①百歳体操を休止している緑の町は高齢化率が最も高いため、年度内の再開に向けて包括保健師中心に地域のNW推進員へアプローチする。 ②社会福祉協議会と協働し、公園を活用した介護予防への取り組みを実施し、地域住民が誰でもいつでも参加できる集いの場を提供する（公園でのラジオ体操など）。	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	シニア世代を対象としたアンケートで一番集う場所が公園であったことを基に、社会福祉協議会と協働し、公園を活用した介護予防の取組みを実施。 「毎日、南港のどこかでラジオ体操をしている」というコンセプトで地域住民が誰でもいつでも参加できる集いの場として、南港の5つの地域公園で誰もが知っているラジオ体操をおこなった。 少しづつではあるが、参加人数が増え、コミュニティが誕生している。	
今後の課題	・ラジオ体操で誕生したコミュニティからボランティアの発掘、育成をし、住民の手でラジオ体操の運営や百歳体操の立ち上げができるようになることが課題である。 ・南港北地域は、他の4つの地域と違い、新しいマンション群で、若い世代や企業が多い地域のため地域活動が浸透していない。周知についての再検討が必要と思われる。	

※以下は、区運営協議会事務局にて記入

区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和6年7月18日（木）			
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	☒ 地域性	☒ 継続性	☒ 浸透性・拡張性	☐ 専門性 ☒ 独自性
評価できる項目（特性） についてのコメント * 今後の取組み継続に向けて、区 地域包括支援センター運営協議会 からの意見等を記載。	・ロコミで広がっている、ショッピングセンターの協力などできる方法を考えてやっている。 ・活動が広がっているということで拡張性がある ・既存にあったものに自分たちの考えを合わせて広めていくのが良い。 ・事業所としてラジオ体操に協力している。ぜひ続けてほしい。			